

臨床医学委員会 慢性疼痛分科会（第25期・第2回）議事録

日 時 令和3年4月9日（金）14:00～15:00

場 所 遠隔会議

参加者：越智、戸山、紺野、住谷、村井、関口、中村（敬称略）

議 題

- 1) 越智分科会長よりこれまでの経緯の説明
- 2) 特任連携会員の紹介（紺野委員、関口委員）
- 3) 新体制における今後の取り組みについて（資料1, 2）
  - ✓ 紺野委員より提言案の概略を説明して頂き、意見交換を行った（資料1）。
  - ✓ 越智分科会長と戸山委員を中心に、提言を作成することの意義とその活用に関して意見が交わされ、慢性疼痛の重要性を国民に発信するとともに、政府やAMEDにも働きかけて施策の策定や現行の研究事業拡大や新たな事業の立ち上げに向けて活用することが確認された。
  - ✓ 中村より資料2を用いて、提言書に対する意見として、1) グローバルな視点（GBD、DALYsなど）、2) 国の研究費配分の実態（特に筋骨格系、慢性疼痛関連について）を追記することが提案され、意見交換を行った。
  - ✓ 今後の提言作成の期限について意見が交わされ、越智分科会長より時期については確認のうえ次回報告して頂くことになった。ただ、目安としては1年後の完成に向けて、今後月1回程度の頻度で本分科会を開催することとなった。
- 4) その他
  - 事務局より、分科会参加の謝金に関する状況の説明があった。

以上  
文責 中村